

令和2年度瑞浪市地域総合支援協議会（全体会）  
書面会議結果

■書面会議の概要

- ・意見等提出期限：令和3年2月8日（月）
- ・書面会議参加者：18名
- ・意見等提出者：2名

■意見等の概要

◎議題（1）瑞浪市地域総合支援協議会の開催状況報告について

- ・各専門部会とも次年度においてオンライン会議を取り入れることができればよいと思う。
- ・コロナ禍のため開催が少なかったのは残念である。

◎議題（2）東濃圏域における連携体制及び協議経過報告について

- ・地域の相談支援拠点として東濃基幹相談支援センターが整備され、総合的・専門的な相談支援体制が整備された。これから重層的相談支援体制の定着を目指して取り組むのはよいと思う。
- ・一つの事業所だけでは解決できないことが増えてきて、いろいろな方向から考えて連携をとって前に進んでいくためにも、相談できるシステムがあると安心して支援していくことができると思う。

◎議題（3）第6期瑞浪市障害福祉計画・第2期瑞浪市障害児福祉計画（案）について

- ・サービス内容や用語等に馴染みがないため、現行計画の進捗状況を受けて次期計画の概要を理解するには少し時間がかかった。
- ・今後は障がい児が増加すると聞いたことがある。幼稚園・小学校・中学校と進むにつれ、発達障がい児等、支援の必要な人がどんどん増加していくことが懸念される。
- ・障がいのある人が社会で負担なく過ごすために考えられた計画ではあると思うが、よりよい方向に進めていくために、今後も各機関がベストを目指していかなければと思っている。

◎その他：今後、協議会で取り上げたい議題について

- ・障がい者の老後について（介護保険への移行問題）
- ・引きこもりの方が相談できる場について  
社会に適応できない引きこもりの方からの相談を受け、「社会へ出たくても出られない」「自分だけではどうにもならない」「同じ悩みを持つ人や、相談できる場が瑞浪にはない」「行政の相談所には行きたくない」「同じ悩みを持つ人や先輩方の体験等の話を聴く場がほしい」等の声があったため。